

横浜市感染症発生動向調査報告 9月

《今月のトピックス》

- 風しんの報告数が増加しています。
- A型肝炎の報告が多い状態が続いています。

◇ 全数把握の対象

〈9月期に報告された全数把握疾患〉

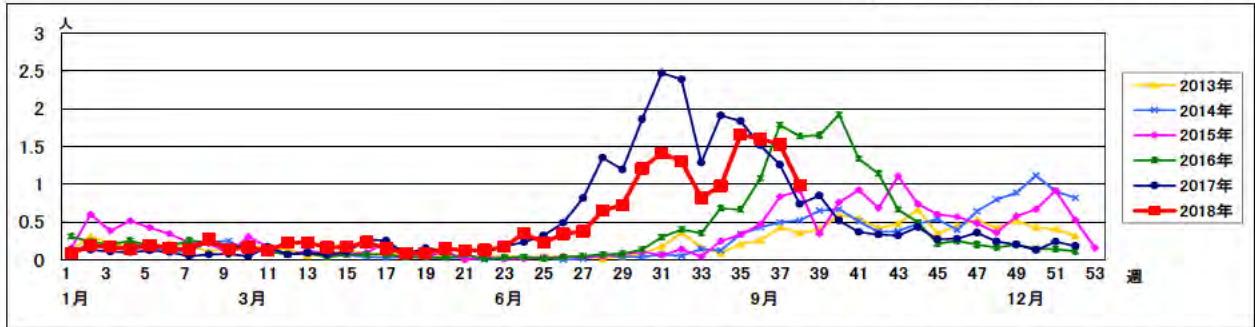
腸管出血性大腸菌感染症	23件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1件
E型肝炎	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症含む)	3件
A型肝炎	5件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1件
デング熱	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	3件
レジオネラ症	1件	水痘(入院例に限る)	3件
アメーバ赤痢	1件	梅毒	11件
ウイルス性肝炎	4件	百日咳	28件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	11件	風しん	31件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	—	—

- 腸管出血性大腸菌感染症: O157の報告が17件(うち5件が無症状病原体保有者)、O121の報告が1件、O145の報告が2件(いずれも無症状病原体保有者)、O不明の報告が3件(うち1件が無症状病原体保有者)ありました。
- E型肝炎: 4件の報告があり、1件は経口感染、3件は感染経路等不明でした。
- A型肝炎: 推定される感染経路は、経口感染が国内で1件、エチオピアで1件、同性間性的接触が2件、感染経路等不明が1件で、いずれもワクチン接種なし、または不明でした。
- デング熱: フィリピンでの蚊からの感染と推定される報告が2件ありました。
- レジオネラ症: 肺炎型の報告が1件あり、感染経路不明です。
- アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- ウイルス性肝炎: B型の報告が4件ありました。感染経路は、異性間性的接触が2件、不明1件、針等または性的接触が1件でした。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 11件の報告があり、感染経路等不明でした。
- クロイツフェルト・ヤコブ病: 古典型CJDの報告が1件ありました。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: B群の報告が1件あり、感染経路等不明でした。
- 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む): AIDSの報告が2件、無症状病原体保有者の報告が1件ありました。男性2件、女性1件でした。いずれも異性間性的接触で、感染地域は国内1件、台湾1件、不明1件でした。
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 90歳代の報告が1件ありました。
- 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児の報告が2件(ワクチン4回接種1件、3回接種1件)、70歳代の報告が1件(ワクチン接種なし)ありました。
- 水痘(入院例に限る): 60歳代および80歳代の検査診断例の報告が1件ずつ(いずれもワクチン接種不明)、40歳代の臨床診断例の報告が1件(ワクチン接種なし)ありました。
- 梅毒: 11件の報告(無症状病原体保有者6件、早期顕症梅毒Ⅰ期3件、早期顕症梅毒Ⅱ期2件)がありました。感染地域は9件が国内、2件が不明で、感染経路は異性間の性的接触が7件、同性間の性的接触が1件、詳細不明の性的接触が2件、不明が1件です。男性7件、女性4件でした。
- 百日咳: 10歳未満では乳児が2件(ワクチン接種なし)、小児で10件(いずれもワクチン接種4回あり)の報告があり、10歳代で3件(ワクチン接種4回あり)、30歳代で2件(ワクチン接種不明)、40歳代4件(ワクチン接種なし1件、不明3件)、50歳代5件(ワクチン接種不明5件)、60歳以上2件(ワクチン接種不明)の報告がありました。
- 風しん: 検査診断例28件、臨床診断例3件が報告されています。10歳未満1件(ワクチン接種なし)、10歳代1件(ワクチン接種なし)、20歳代2件(ワクチン接種あり1件、不明1件)、30歳代9件(ワクチン接種なし1件、不明8件)、40歳代8件(ワクチン接種あり1件、なし2件、不明5件)、50歳代9件(ワクチン接種あり1件、なし2件、不明6件)、60歳代1件(ワクチン接種不明)でした。

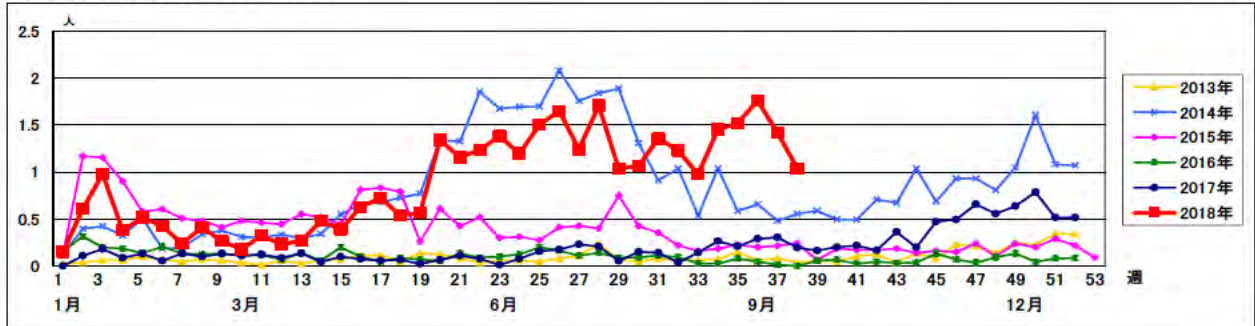
◇ 定点把握の対象

- 1 RSウイルス感染症: 第27週で定点あたり0.37、第28週で0.65、第30週で1.21と増加傾向となり、第35週で1.66となってピークとなりました。その後は漸減し、第38週で0.99となっています。

報告週対応表	
第35週	8月27日～9月 2日
第36週	9月 3日～9月 9日
第37週	9月10日～9月16日
第38週	9月17日～9月23日



- 2 伝染性紅斑: 2017年第45週頃より増加傾向となり、例年と比べて高値で推移しています。第38週では定点あたり1.04となっています。



3 性感染症(8月)

性器クラミジア感染症	男性:24件	女性:28件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 8件	女性:11件
尖圭コンジローマ	男性: 9件	女性: 1件	淋菌感染症	男性: 9件	女性: 4件

4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.75	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	8件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	—	—

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

9月に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点30件、内科定点6件、基幹定点12件、眼科定点3件で、定点外医療機関からは4件でした。

10月9日現在、ウイルス分離4株と各種ウイルス遺伝子17件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(9月)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上 気 道 炎	下 気 道 炎	イン フル エン ザ *	R S 感 染 症	手 足 口 病 *	ヘル パン ギ ー ナ	無 菌 性 髄 膜 炎	パ レ コ ウ イ ル ス 感 染 症	h M P V ウ イ ル ス 感 染 症
インフルエンザ AH1pdm 型			1						
インフルエンザ AH3 型			1						
アデノ 2 型	1								
パラインフルエンザ 3 型	1	1							
ヒトメタニューモ				1					3
RS				4					
ライノ				1					
コクサッキー A4 型						1			
コクサッキー A9 型							1		
コクサッキー B4 型						1	1		
ノロ G2 型	1								
エンテロ 71 型					1			1	
合計	1 2	1	1 1	6	1	1 1	2	1	3

上段:ウイルス分離数/下段:遺伝子検出数

*:疑い含む

〈細菌検査〉

「菌株同定」の主な依頼は、基幹定点から百日咳菌、サルモネラ菌、G群溶血性レンサ球菌が各1件となっており、非定点からの依頼は、ありませんでした。保健所からは、腸管出血性大腸菌17件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌10件、肺炎球菌2件、劇症型溶血性レンサ球菌、コレラ菌各1件となっています。

「分離同定」の検査は、非定点からレプトスピラ4件、コレラ菌1件があり、いずれも検出しています。

「小児科サーベイランス」では、A群溶血性レンサ球菌が1件検出しています。

表 感染症発生動向調査における細菌検査結果(9月)

菌株同定	項目	検体数	血清型等
医療機関 基幹定点	百日咳菌	1	<i>Bordetella pertussis</i> I相
	サルモネラ菌	1	<i>Salmonella</i> Thompson
	G群溶血性レンサ球菌	1	<i>Streptococcus dysgalactiae</i> subsp <i>equisimilis</i> G群
保健所	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	10	<i>Enterobacter aerogenes</i> (5)、 <i>Enterobacter cloacae</i> (4)、 <i>Serratia marcescens</i> (1)
	腸管出血性大腸菌	17	O157:H7 VT1VT2(6)、O157:H7 VT2(3)、 O157:H- VT1VT2(4)、O157:H- VT2(2)、 O121:H19 VT2(1)、O145:H- VT2(1)
	コレラ菌	1	<i>Vibrio cholerae</i> non O1&O139 CT(-)
	肺炎球菌	2	<i>Streptococcus pneumoniae</i> 型別不能
	劇症型溶血性レンサ球菌	1	B群3型

分離同定	項目	材料	検体数	同定、血清型等
医療機関 非定点	レプトスピラ	全血	1	検出(<i>Leptospira interrogans</i> 遺伝子)
		髄液	1	不検出
		血清	2	抗体検出(血清型 Hebdomadis)
保健所	コレラ菌	便	1	<i>Vibrio cholerae</i> non O1&O139

小児科サーベイランス	項目	検体数	同定、血清型等
小児科定点	A群溶血性レンサ球菌	1	T28型

【 微生物検査研究課 細菌担当 】